

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察技術情報第14号（ナシ黒星病）について（送付）

ナシ黒星病の防除対策について、以下のとおり取りまとめましたので送付します。

1 農作物名 ナシ

2 病害虫名 ナシ黒星病

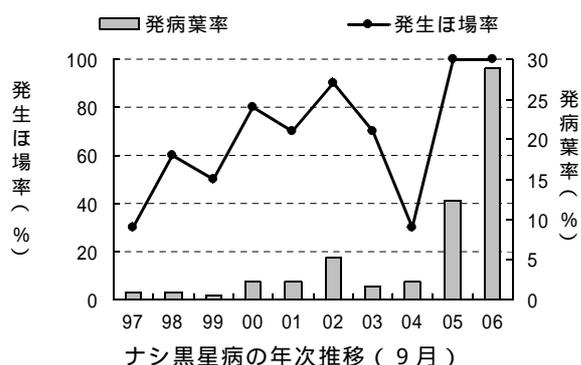
#### 4 情報の根拠

- (1) 前年9月の巡回調査では、葉での発生ほ場率は100%（平年58%）、発病葉率28.9%（平年10.2%）と過去10年間で最も高かったことから、越冬菌密度は高いと予想される。
- (2) 罹病した枝や芽基部で越冬した病原菌が第一次伝染源となる。
- (3) 主要な感染時期に当たる4～5月の降水量は平年並で推移すると予報されており、降雨や結露により発生が助長され、多発する恐れがある。

#### 5 防除上注意すべき事項

- (1) 開花期から新梢伸長期は最も感染しやすいので、開花期前後の防除を徹底する。
- (2) 生育状況を良く観察し、防除適期を逸さないように注意する。
- (3) 開花期前後の防除は効果の高いE B I剤（DMI剤）を用いて防除する。耐性菌の発生を防止するため同一薬剤の連用を避ける。
- (4) 発病葉や発病果は伝染源となるのでせん除し、園外に持ち出して処分する。
- (5) 「幸水」は本病に感染しやすいので防除を徹底する。

（参考資料）



防除適期（開花前の花芽）